



Press Release

平成 20 年 7 月 1 日

各 位

日本 A C L S 協会

ヤマト運輸株式会社による日本経済新聞への広告掲載について

日本 A C L S 協会は、我が国で一人でも多くの方々に心肺蘇生法の技術と知識を伝えるべく、世界で最も先進的なサイエンスとトレーニングのノウハウを提供しているアメリカ心臓協会 (AHA) とタイアップすることにより、使い方ややり方だけではなく、正しい技術、知識についてトレーニングを通じて習得していただき、より多くの方が助かるよう日々努力に励んでおります。

心肺停止は予告なく突然発病します。たとえ健康な人でも窒息や思わぬ事故で心肺停止に陥ることがあります。日常生活の中で突然そういった場面に遭遇することはありえない事ではありません。突然心肺停止になった人を救命するにはその場に居合わせた人の協力が欠かせません。日本 ACLS 協会では、そのような事態の際に少しでも多くの方を救いたく、医療従事者はもとより、企業や一般の方々に向けて心肺蘇生法のトレーニングを実施しております。このような活動の中で年間の受講生が 3 万人を超え、受講生の方々への事務的なご不便や煩雑な状況の中、ヤマト運輸株式会社 (本社：東京都中央区・代表取締役社長 木川 眞) 各グループのご協力により、トレーニングを受講される皆様に便利で分りやすいしくみをご提供できるように、事務業務の効率化を推進していただいております。

このような中、ヤマト運輸株式会社と日本 A C L S 協会との取り組みを記載した広告を 6 月 25 日発行の日本経済新聞朝刊一面に掲載していただきました。日本中に事業所、取扱店を展開し、地域や社会に根付いた社会貢献活動をされているヤマト運輸株式会社が日本 ACLS 協会の活動に賛同していただける事は、より多くの人命の救命につながる事と思っております。一人でも多くの方に心肺蘇生法を知っていただき人命救助を通して地域・社会に貢献できるよう努めてまいります。